

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-501447(P2005-501447A)

【公表日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)

【年通号数】公開・登録公報 2005-002

【出願番号】特願 2003-521476(P2003-521476)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 3 M 7/30

H 0 4 N 1/41

H 0 4 N 7/24

【F I】

H 0 3 M 7/30 Z

H 0 4 N 1/41 Z

H 0 4 N 7/13 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 14 日 (2005.1.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

変換係数 (K) を量子化して量子化値 (L) を求める量子化方法において、
前記変換係数を入力するステップと、
量子化パラメータ (Q P) を入力するステップと、
前記量子化値を求めるステップとを備え、
前記量子化値は、前記量子化パラメータの関数である仮数部分 (A m (Q P)) 及び指
数部分 (A e (Q P)) を用いて

$L = K \times A m (Q P) \gg A e (Q P)$ (\gg は右シフト演算を表す)
により求められ、

前記仮数部分の関数の構造は、定数 (P) を用いて

$A m (Q P) = A m (Q P \bmod P)$

であることを特徴とする量子化方法。

【請求項 2】

量子化値 (L) を逆量子化して変換係数 (K) を求める逆量子化方法において、

前記量子化値を入力するステップと、

量子化パラメータ (Q P) を入力するステップと、

前記変換係数を求めるステップとを備え、

前記変換係数は、前記量子化パラメータの関数である仮数部分 (B m (Q P)) 及び指
数部分 (B e (Q P)) を用いて

$K = L \times B m (Q P) \ll B e (Q P)$ (\ll は左シフト演算を表す)

により求められ、

前記仮数部分の関数の構造は、定数 (P) を用いて

$B m (Q P) = B m (Q P \bmod P)$

であることを特徴とする逆量子化方法。